

2017年6月期 (第14期)

決算説明資料

Hikaku.com

東証マザーズ : 2477

2017年8月24日

目次

1	2017年6月期 決算ハイライト	03
2	2017年6月期 事業報告	12
3	2018年6月期 業績予想と事業展開	23

決算説明資料についてのご注意

当資料に掲載されている当社の計画や戦略、業績に関する予想及び見通しのうち、歴史的事実を含んでいないものは、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信に基づくものであります。実際の業績は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性もあることをご了承ください。

法律上必要とされる場合を除いて、当社は事前の予告なく、将来の見通しに関する記述を見直したり、将来の見通しの根拠となった仮定及び要因についての変更を行うことがございますので、ご了承ください。

1 2017年6月期 決算ハイライト

1 2017年6月期 決算ハイライト

1 決算概要

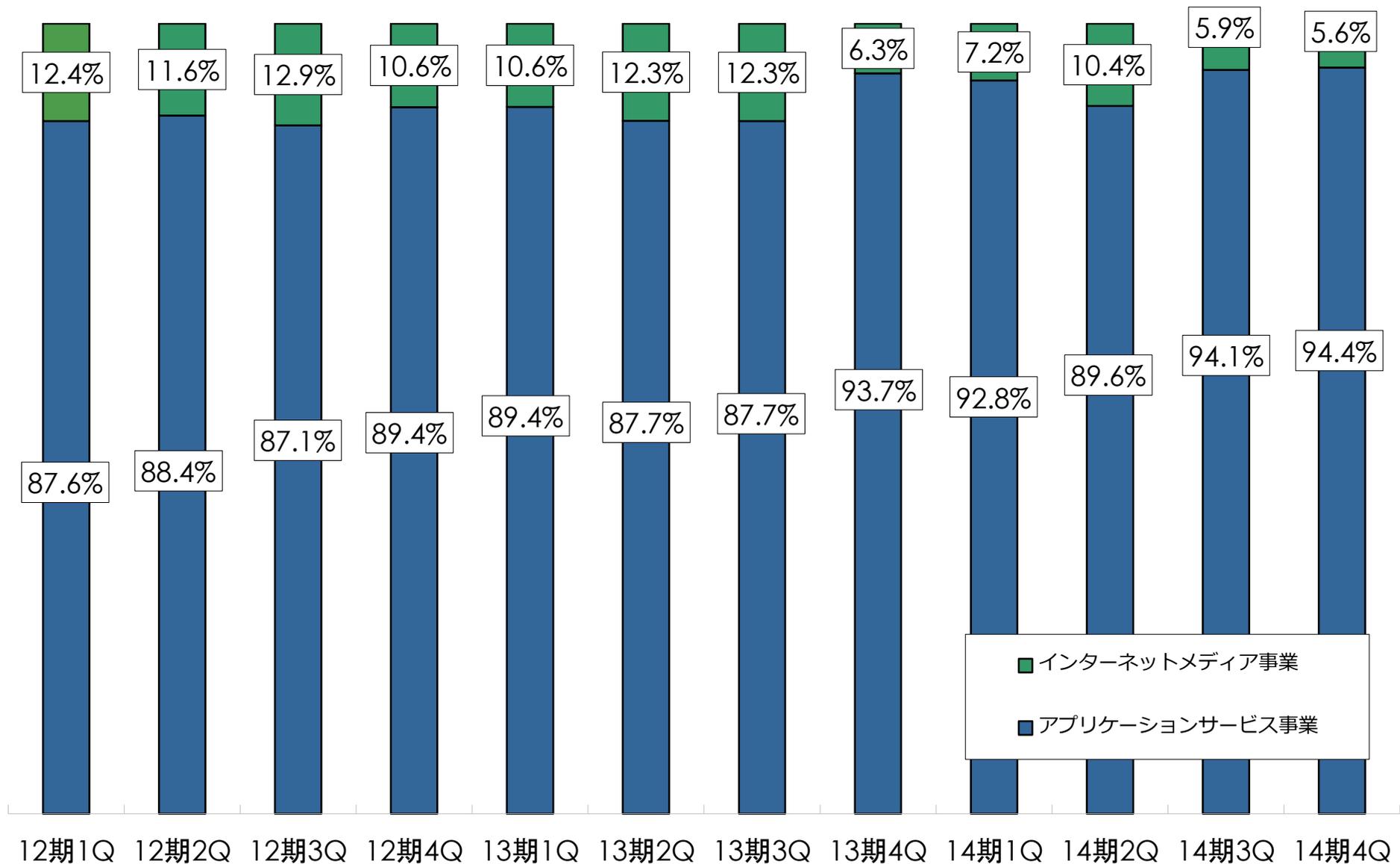
売上高：前期比14.4%増

営業利益：前期比15.1%増

	2017年6月期		2016年6月期 実績	前期比 増減額	前期比 増減率
	実績	売上高 利益率			
売上高	919,771 千円	-	803,653 千円	+116,118 千円	+14.4%
営業利益	477,237 千円	51.9%	414,667 千円	+62,569 千円	+15.1%
経常利益	478,455 千円	52.0%	416,225 千円	+62,229 千円	+15.0%
当期純利益	320,407 千円	34.8%	229,220 千円	+91,187 千円	+39.8%
1株当たり当期純利益	49円47銭	-	35円39銭	-	-

1 2017年6月期 決算ハイライト

2 売上高構成比の推移



1 2017年6月期 決算ハイライト

3 セグメント別売上とセグメント別利益

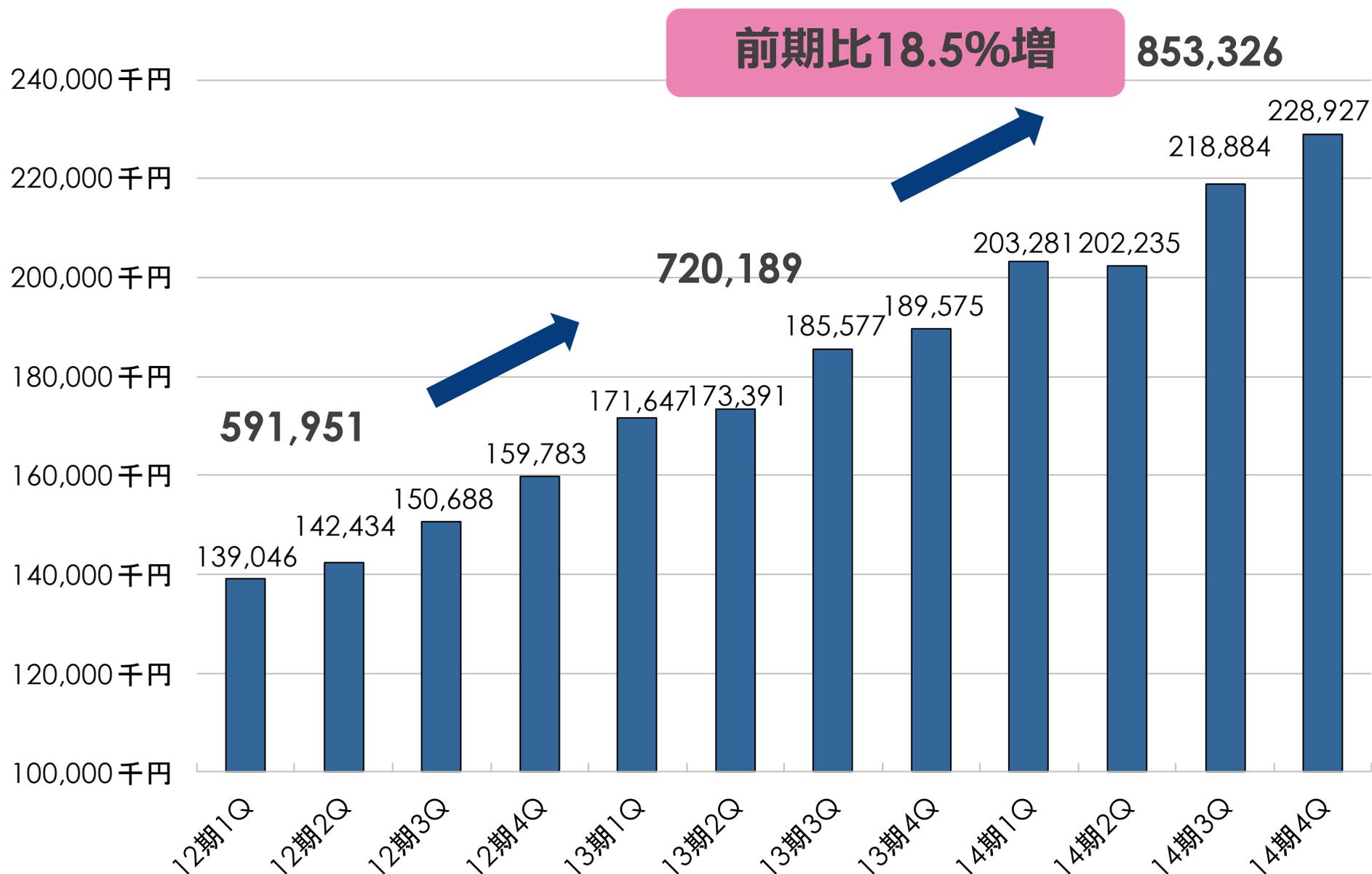
アプリケーションサービス事業は引き続き増収増益、売上高利益率は53.8%

インターネットメディア事業は再構築とコスト削減を実施、売上高利益率は27.3%

	セグメント 売上高	セグメント利益 (全社共通費配賦後)	売上高利益率 (全社共通費配賦後)
アプリケーション サービス事業	853,326 千円	560,596 千円 (459,110 千円)	65.7% (53.8%)
インターネット メディア事業	66,445 千円	25,552 千円 (18,126 千円)	38.5% (27.3%)
調整額	- 千円	△108,911 千円	-
合 計	919,771 千円	477,237 千円	51.9%

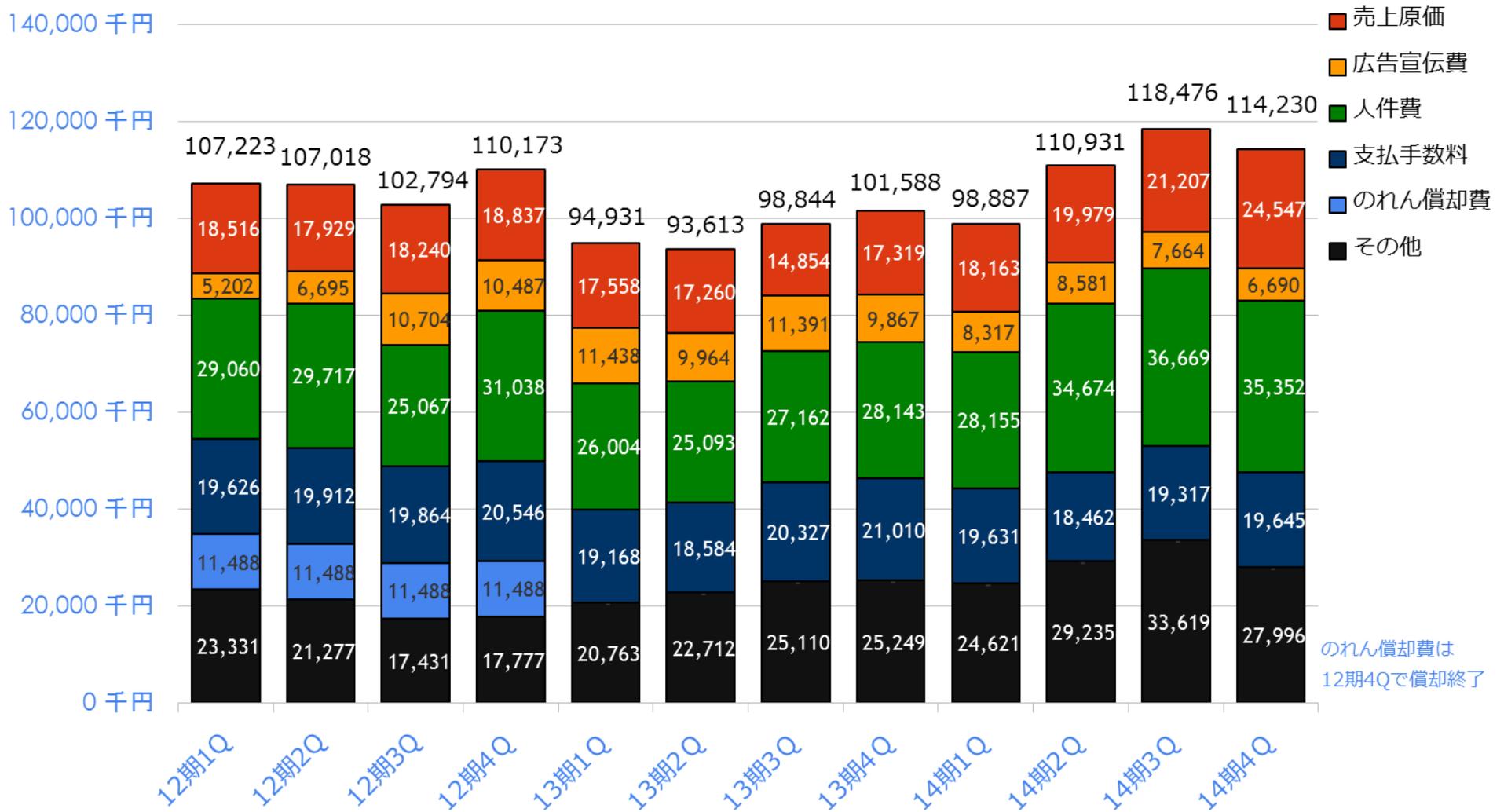
1 2017年6月期 決算ハイライト

4 アプリケーションサービス事業の売上高推移



1 2017年6月期 決算ハイライト

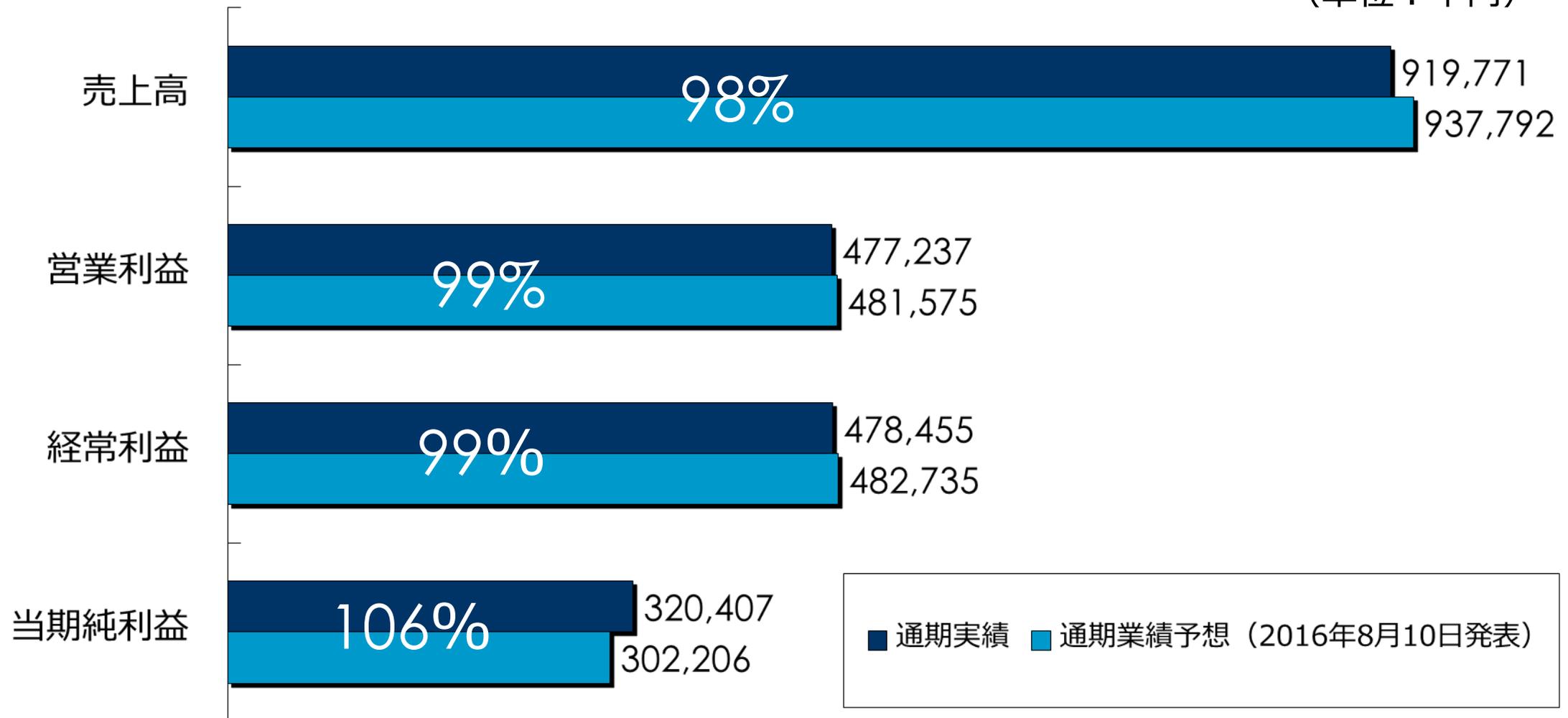
5 売上原価及び販売管理費の内訳



1 2017年6月期 決算ハイライト

6 通期業績予想に対する実績

(単位：千円)



1 2017年6月期 決算ハイライト

7 貸借対照表

	2016年6月期末	2017年6月期末	主な増減要因
現預金	2,140,768 千円	2,406,791 千円	-
その他流動資産	189,651 千円	158,868 千円	売掛金 △23,784 千円
固定資産	35,683 千円	38,629 千円	繰延税金資産 +6,668 千円
資産計	2,366,103 千円	2,604,289 千円	-
負債	214,280 千円	154,725 千円	未払法人税等 △53,450 千円
純資産	2,151,823 千円	2,449,564 千円	利益剰余金 +297,740 千円
負債・純資産計	2,366,103 千円	2,604,289 千円	-
自己資本比率	90.9%	94.1%	-
ROE (自己資本当期純利益率)	11.2%	13.9%	-
ROA (総資産経常利益率)	18.8%	19.3%	-

1 2017年6月期 決算ハイライト

8 キャッシュ・フロー計算書

	2017年6月期末	主な増減要因
営業CF	288,642 千円	税引前当期純利益 478,455 千円
投資CF	△70 千円	-
財務CF	△22,549 千円	配当金の支払 △22,549 千円
CF増減額	266,023 千円	-
CF期首残高	2,140,768 千円	-
CF期末残高	2,406,791 千円	-
フリー・キャッシュ・フロー	288,572 千円	-

(注) フリー・キャッシュ・フローは、営業CF+投資CFで計算しております。

2

2017年6月期 事業報告

2 2017年6月期 事業報告

1 セグメント別事業概要

アプリケーションサービス事業

TEMAIRAZU

**宿泊予約サイトコントローラ
『TEMAIRAZU』シリーズの
開発・提供**

国内の宿泊施設に対して予約サイトを一元管理
する宿泊予約サイトコントローラ
『TEMAIRAZU』シリーズを開発・販売する。

インターネットメディア事業

HIKAKU.COM
比較.com®

比較サイト『比較.com』の運営

顧客誘導サービス

広告主のウェブサイトへユーザーを誘導し、成約件数に応じた手数料収入を得る。

情報提供サービス

保険や引越しの各種見積もり・資料請求等に応じた手数料収入を得る。

広告

バナー、テキスト、記事コンテンツ等の広告を販売する。

2 2017年6月期 事業報告

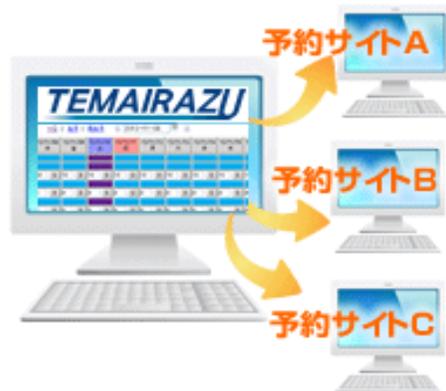
2-1 アプリケーションサービス事業について

宿泊予約サイトコントローラとは、複数のオンライン予約サイトの情報を一括管理するサービスです。販売チャネルの拡大による収益の向上と宿泊施設の予約業務の効率化による運用コストの削減が図れます。

『TEMAIRAZU』の特長

① 複数の宿泊予約サイトも操作一つで一括管理

在庫や料金の管理を一括で行うため、複数の予約サイトから集客ができ、煩雑な予約管理業務からも解放されるため、収益が上がり、管理コストも削減できます。



② 自動かつスピーディーな更新でオーバードッキングを回避

予約情報の取得を行う間隔が短く、素早い在庫調整ができます。急な予約が入っても、一括で各宿泊予約サイトの部屋を手仕舞いすることができます。



③ インターネットが接続できればOK！面倒な設定は不要

インターネット経由で使用するため、施設内、本部等場所を問わず管理ができます。専用サーバで情報を管理しているため、故障等により急にパソコンを買い替えても同じIDでご利用いただけます。

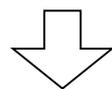


2 2017年6月期 事業報告

2-2 アプリケーションサービス事業について

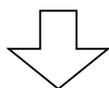
『手間いらず!』サービス開始

予約サイトコントローラ
手間いらず!



新型予約サイトコントローラ『手間いらず.NET』誕生

新型予約サイトコントローラ
手間いらず.NET
T E M A I R A Z U



施設様と共に進化し続ける『TEMAIRAZU』へ

TEMAIRAZU

2002年、オンライン宿泊予約サイトが出現してインターネットでの予約が始まって間もなく、インストール型アプリケーション予約サイトコントローラ『手間いらず!』は誕生しました。複数の宿泊予約サイトを一元管理できるシステムは、多くの施設様に御利用されてきました。

2010年にはASP型の新型予約サイトコントローラ『手間いらず.NET』が誕生し、インターネットに接続する環境であればどこでも予約管理ができる便利さで、今まで以上に有用性の高いシステムとなりました。国内の宿泊予約サイトはもちろん、自社宿泊予約システムや海外宿泊予約サイト・ホールセラーとの連携も多数対応し、PMSとの連携やリアルエージェントの予約情報の連携もできるようになりました。さらに、CRSとの連携も可能となり、インバウンド集客にも有効なシステムとなりました。

現場で働く皆様からの貴重なご意見等を賜り、様々な機能追加や改善を行い、2015年に新生『TEMAIRAZU』として、また2016年7月から、さらに進化したシステムの『手間いらず.NET 2』、『TEMAIRAZU YIELD』を宿泊施設様へ提供を開始いたしました。これからも宿泊施設様とともに『TEMAIRAZU』はあり続けます。

2 2017年6月期 事業報告

3-1 アプリケーションサービス事業の事業報告

国内外の予約サイトと 相次いで接続

宿泊マッチングプラットフォーム
『TATERU bnb』
(株)iVacation)

旅行会社用ホテル予約システム
『JAC Travel』
(イギリス)

海外向け自社ホームページ用
インバウンド予約ツール
『ペリカンホテルソリューション』

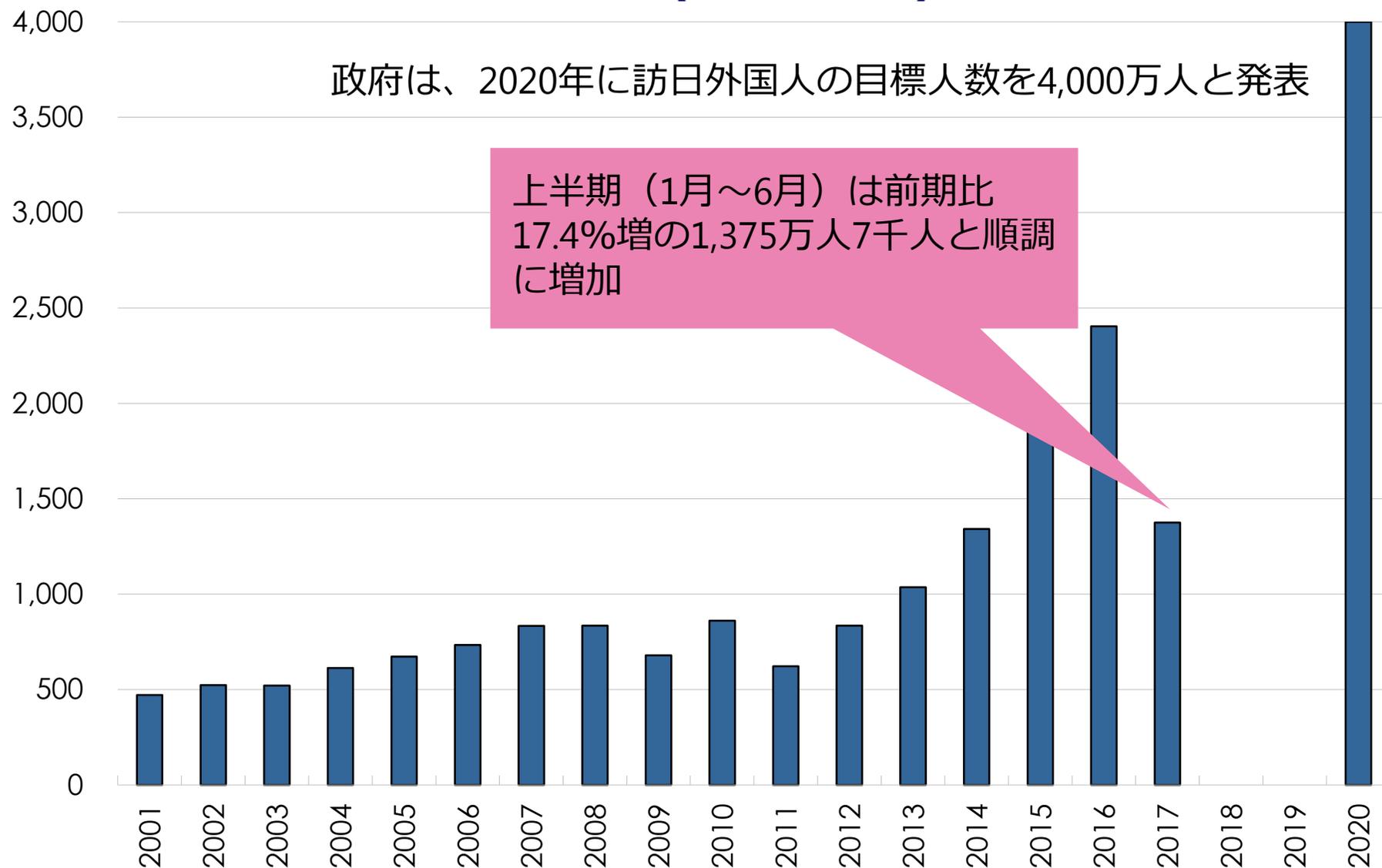
旅行会社用ホテル予約システム
『Hikari Global』
(韓国)

Booking.com社の
自社予約システム
『BookingSuite』

2 2017年6月期 事業報告

3-2 アプリケーションサービス事業の事業報告

訪日外国人旅行者数の推移 (2001年以降) 日本政府観光局発表



2 2017年6月期 事業報告

3-3 アプリケーションサービス事業の事業報告

現在の海外との主なシステム連携（右の国名は本社所在地）

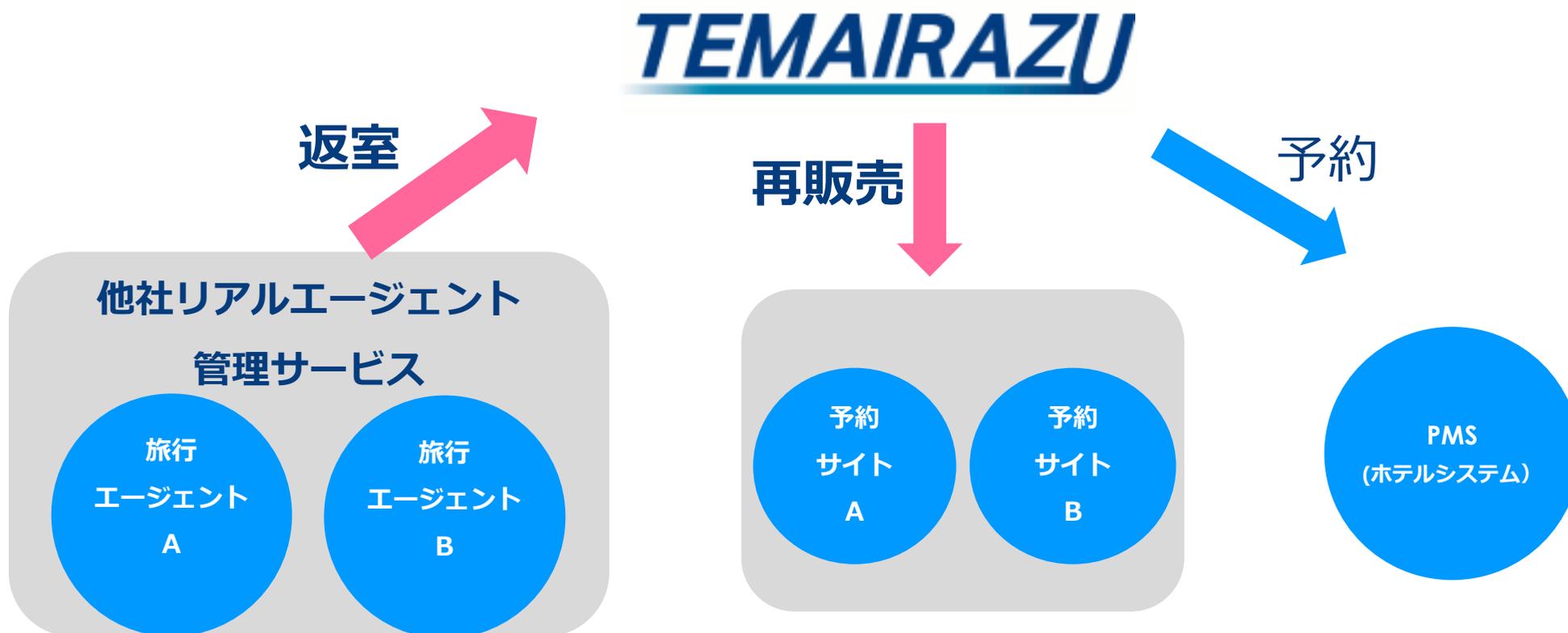
Expedia	アメリカ	TripAdvisor	アメリカ
Booking.com	オランダ	agoda	タイ
HRS	ドイツ	Ctrip	中国
Hostelworld.com	アイルランド	自在客	中国
FASTBOOKING	フランス	GLOBEKEY	オーストラリア
Hotelbeds	スペイン	Hotelscombined	オーストラリア
gta	イギリス	bico	韓国

2 2017年6月期 事業報告

3-4 アプリケーションサービス事業の事業報告

リアルエージェント対応商品とのシステム連携を強化

- 自動返室機能
- 再販売機能
- 返室数・予約数が手間いらず上で表示



2 2017年6月期 事業報告

3-5 アプリケーションサービス事業の事業報告

『TEMAIRAZUシリーズ』の新商品の発売を開始

『手間いらず .NET2』

予約情報取得速度のさらなる高速化&短時間集中予約発生の対応

「予約情報取得速度高速化」、「短時間集中予約発生アラート」

⇒オーバーブッキングのリスクを回避、販売機会を最大化

『TEMAIRAZU YIELD』

ターゲットプライス

予約サイトに登録する料金を在庫数に応じて、日数ごとに自動で調整

⇒日ごとの平均客室単価の最適化

・販売チャネル自動調整機能

販売する予約サイトを状況に応じて選択でき、自動で販売調整が可能

⇒予約サイトでの販売にかかる手数料の最適化

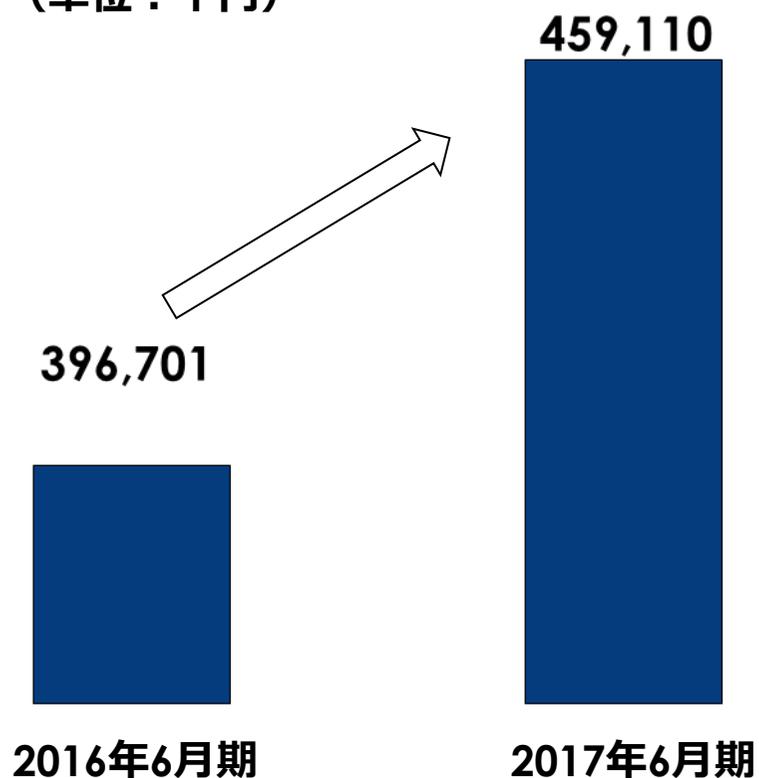
2 2017年6月期 事業報告

3-6 アプリケーションサービス事業の事業報告

セグメント利益
(全社共通費配賦後)

TEMAIRAZU

(単位：千円)



前期比
15.7%増

創業以来の
最高益を更新

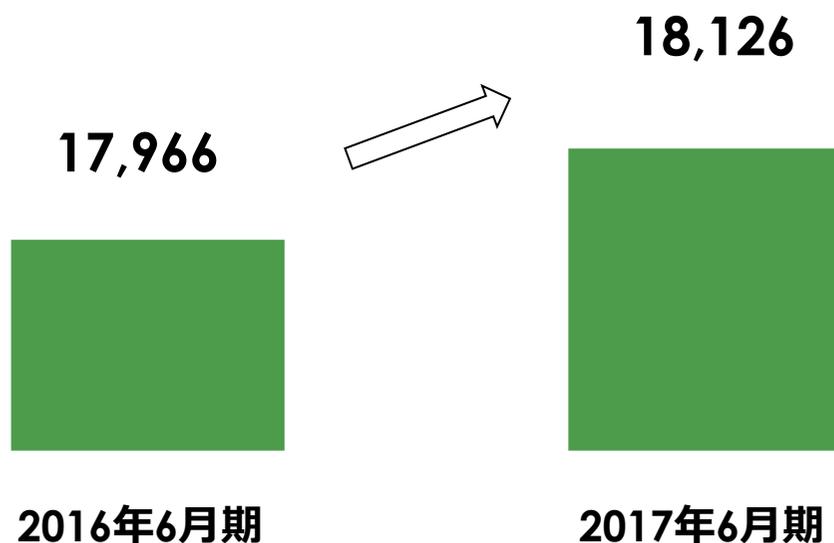
2 2017年6月期 事業報告

4 インターネットメディア事業の事業報告

セグメント利益
(全社共通費配賦後)

(単位：千円)

比較.com[®] HIKAKU.COM



抜本的な事業構造の見直し

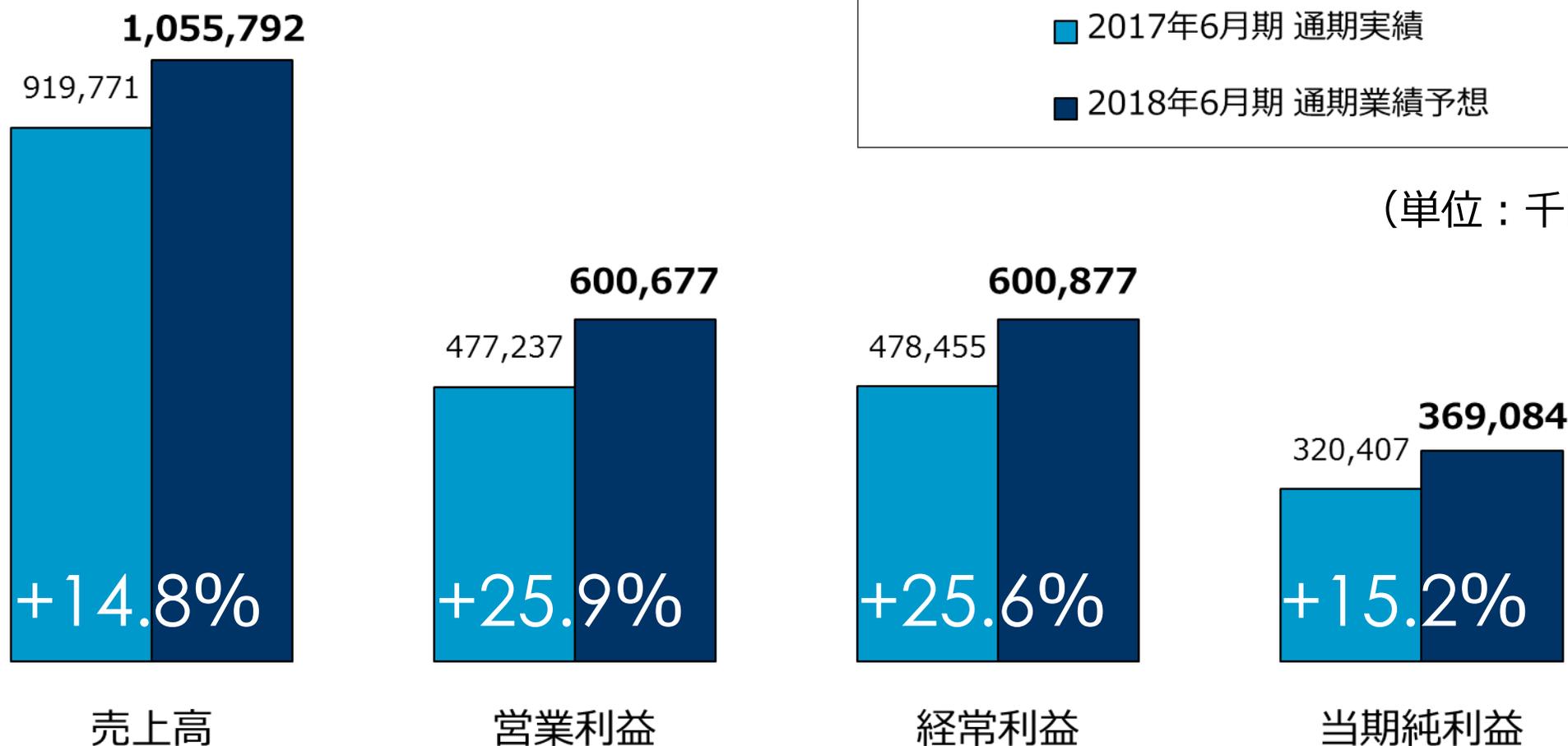
- ・ 広告出稿の最適化
- ・ サービスの統廃合
- ・ コンテンツの再構築

3 2018年6月期 業績予想と事業展開

3 2018年6月期 業績予想と事業展開

1 業績予想

継続的な増収・増益を計画

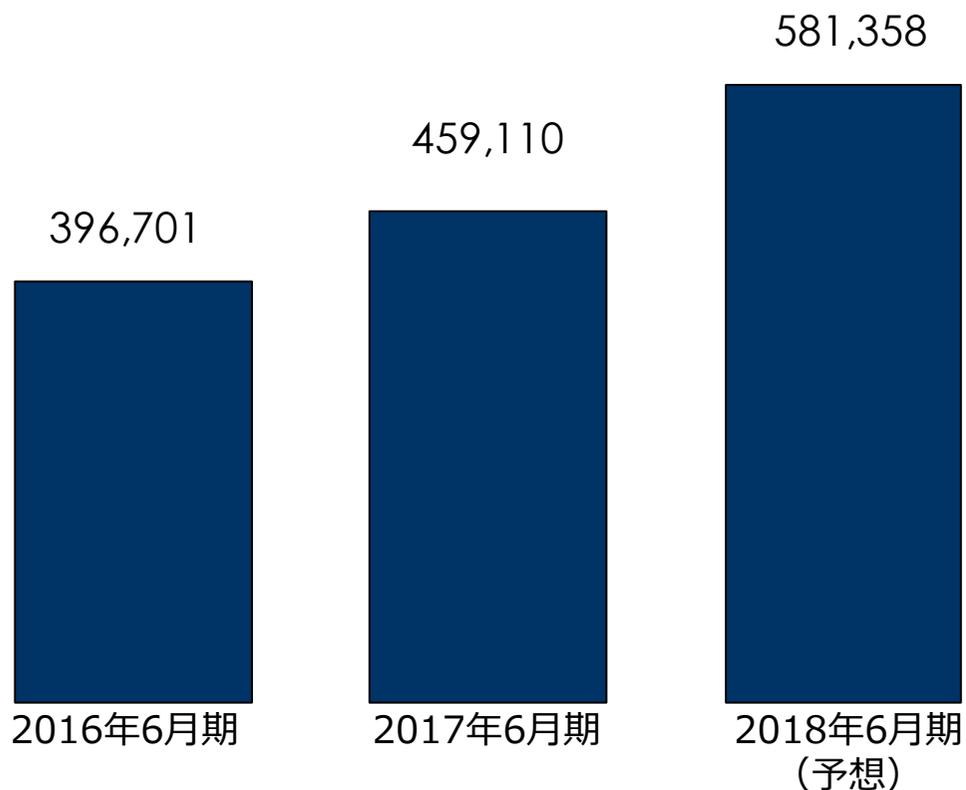


3 2018年6月期 業績予想と事業展開

2 アプリケーションサービス事業のセグメント利益予想

セグメント利益 (全社共通費配賦後)

(単位：千円)



**前期比26.6%増
最高利益更新を予定**

3 2018年6月期 業績予想と事業展開

3 アプリケーションサービス事業の今後の事業展開

TEMAIRAZU

海外・国内サイト接続強化

民泊市場への対応

営業体制強化

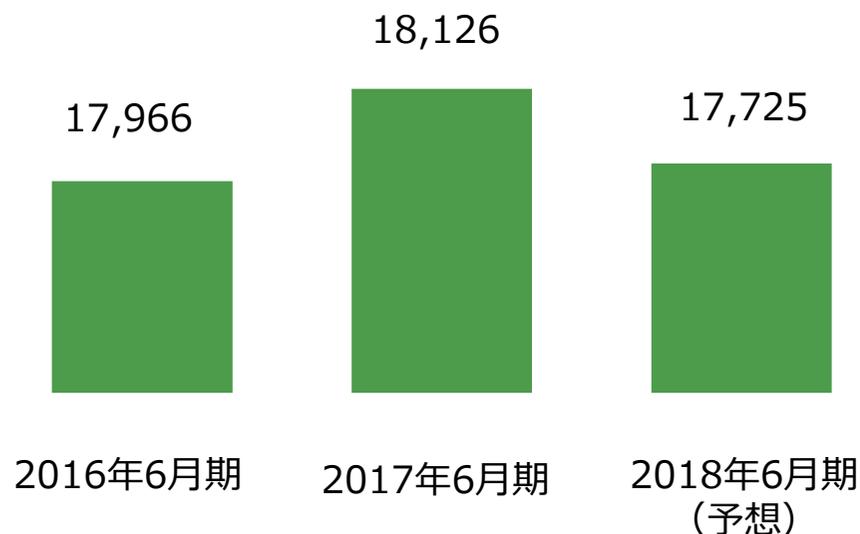
プロモーション強化

3 2018年6月期 業績予想と事業展開

4 インターネットメディア事業のセグメント利益予想

セグメント利益
(全社共通費配賦後)

(単位：千円)



事業構造の見直しを継続

- ・サービスの統廃合
- ・コンテンツの再構築

会社概要

商号	比較.com株式会社
英文名	Hikaku.com Corporation
設立年月日	2003年8月4日
決算月	6月
資本金	709,262,500円（2017年6月30日現在）
発行済株式数	6,476,400株（2017年6月30日現在）
株式売買単位	100株（2017年6月30日現在）
本店所在地	東京都渋谷区恵比寿一丁目21番3号 恵比寿NRビル7階
証券コード	2477（東証マザーズ）
監査法人	有限責任監査法人トーマツ
主なサイト	『TEMAIRAZU』 http://www.temairazu.com/ 『比較.com』 http://www.hikaku.com/

【IRに関するお問い合わせ】

比較.com株式会社 経営企画室

TEL : 03-5447-6690 mail : ir@hikaku.com

投資家向け情報 <http://www.hikaku.com/info/ir/index.html>

プレスリリース <http://www.hikaku.com/info/news/index.html>